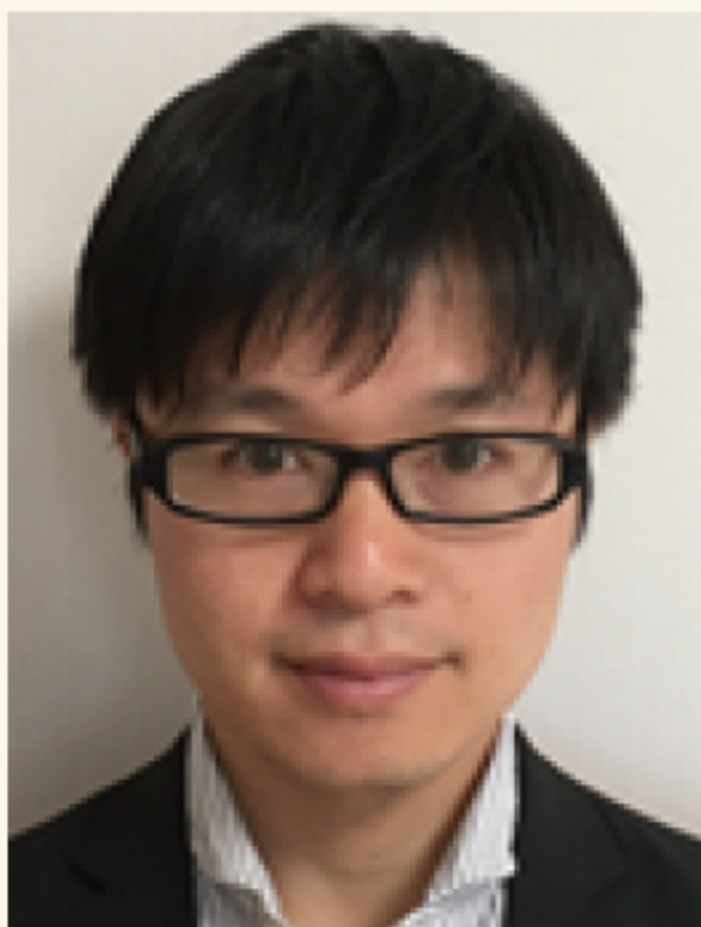


大環状化合物の特異的ナノ空間を利用する 物質輸送と分離膜構築に関する研究



河野 慎一郎

名古屋大学・講師

を構築しています。本研究では、炭化水素鎖の末端に光重合性の置換基を導入し、ナノ空間をもつ自己組織化構造を安定化させることで、水中からイオンや有害な有機物を選択的に分離する膜や自己組織構造を利用する水圏機能材料の開拓を目指します。

サイズと形状が均一な微小空間（ナノ空間）をもつ大環状化合物の自己組織化に関する研究を行っています。剛直かつ平面性の高い大環状化合物とその環構造の周囲に導入した炭化水素鎖との空間的バランスによって、一次元に分子集積したカラムナー液晶や平滑な原子層上での二次元多孔性周期構造

